9〜12か月ころ

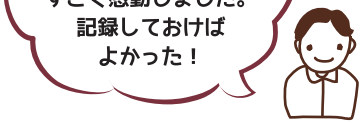
ハイハイ→つかまり立ち→つたい歩き→ひとりで立つという大きな変化があらわれる時期です。指先を器用に動かせるようになり小さなものをつまんだり、放したり、運んだり。知っているものや好きなものを指差しで教えてくれるようにもなります。成長のスピードもそのこの個性。個人差があることを忘れないでください。他人と比べる気持ちは、こどもにも伝染します。特にママが心配性の場合は、パパの役割は重要です。

先輩パパより　こどもはママの笑顔が好きだから

ママのケア

こどもから目が離せないので、ママの行動も制限されます。こどもの食事や片付けなど、誰の仕事かではなく、連携プレーでお互いに頼れるパートナーに成長していこう。

私のクセやことばを「まねっこ」するのですごく感動しました。記録しておけばよかった！



ご飯を自分で食べようとしたり、感情表現も豊かになってきて、「赤ちゃん」から「こども」へと少しずつ変わっていくのを感じる！





卒乳のとき3日間夜泣きと格闘で大変でした。パパの協力は大切です。

こどもの成長発見！

こどもと遊ぼう！パパはおだづもっこ！

「ぎっこんばったん」や「高い高い」といったアクティブな遊びを喜びます。視線の位置が変わることも楽しさの一つ。歌や楽器も大好きです。

気い張んねでさっ

発達で気になることがあったら

体験談

先輩パパより　我が子は我が子

こどもが1歳半になった頃、そろそろ言葉が出るころかなと期待していました。ところがなかなか言葉が出ません。3歳頃になりようやくパパ、ママなどの簡単な一語文が出るようになりました。しかし同時に、大好きな人形を持って遊んでいると突然投げ出してパニックになるなど、気になる行動が目立つように。こどもには発達の個人差があるし、他のこよりも少し違うだけだと思いたかったのですが、一方でこどものこれから先の社会生活を考えると、不安。適切なアドバイスを受けた方が良いと思い、発達の専門機関に見てもらうことを決めました。発達検査により発達障害の傾向がややあることがわかり、最初はショックを受けました。しかし、具体的な支援方法のアドバイスを受け、子育ての方向性がつかめたため、希望を持つことができました。今では、パニックの原因がわかり、言葉の使い方にも成長が見られます。発達障害があっても我が子は我が子と思い、こどもの成長を願う気持ちに変わりはないことに気づきます。

先輩パパより　どう接していいか

妻は、息子の発達のことで悩んでいて、色々と調べたりしていましたが、はじめ私は、なかなか理解することができませんでした。でも、相談したり、色々なアドバイスを頂きながら、少しずつ発達のことを受け入れるようになりました。父の立場から、どう接していいか悩みましたが、専門の先生のお話を聞いて「そういうものか、自分のこどもだし、そのまま受け入れて、やれることをやろう」「やりたいこと、みんなさせてやりたい」「息子に向いていることを見つけてやりたい」と考えるようになりました。こどもの向き、不向きを見極めていいところを伸ばしてあげられればいいのかなと思いました。こどもの情報を共有して、こどもへのフォローの仕方や、どう対応するか夫婦で話し合うようにしています。

先輩ママより　聞いて

どう育てていったらと悩んでいる時、やっぱりパパの存在は大きいです。仕事で疲れているかもしれないけれどママの話を聞いてほしい。一番は、こどもの成長をパパとママー緒に喜べることです。こどもが笑顔で暮らせるようにふたりで頑張りましょう。



先輩ママより　あれ、もしかして

夫に初めてこどもの発達に対しての不安を打ち明けた時「お前の言う普通ってなんだよ」と言われました。しかし、自分でもこどもの行動で思うことがあったのか、調べたり、私の話を聞くうちに、夫は「あれ、もしかして」と思うようになったようです。毎日の生活では、私の方が頭ではわかっているのに些細なことでイライラしてしまいます。そんなときには話を聞いてくれたり、ひとりの時間をもらうなど、なんらかのフォローがあると助かります。

〜こどもの事で気になることがあったら、ぜひ市役所の保健師にご相談ください！〜
石巻市健康推進課　☎0225-95-1111（代表）　内線2421

WOW!!

ひやっとした瞬間

パパアンケート

- こどもをお風呂の中につかまり立ちをさせてすぐ、ふと見たらこどもがお風呂で溺れるところでした。お風呂での油断は危険です!
- 飴はひとりで舐めさせると危ない。のどに詰まって声が出ない状態で、こどもが自分をたたいて知らせてくれたことで気づいた。
- こどもには開けられないだろうと思っていた市販の薬瓶が開けられて、薬が散乱していた。
- 歩行器に乗っていて玄関に落ちた。
- こどもが1歳の時、1階の出窓からあわや転落!落ちる瞬間に手をつかんで事なきをえた。
- テーブルの温かい料理に手を突っ込んだ。
- こどもが道路へ飛び出した。
- 車で走行中にドアを開けようとした。
- 少し目を離したら迷子になってしまった。
- まだヨチヨチ歩きのこどもが包丁を持ち出して歩いているのを見たとき。

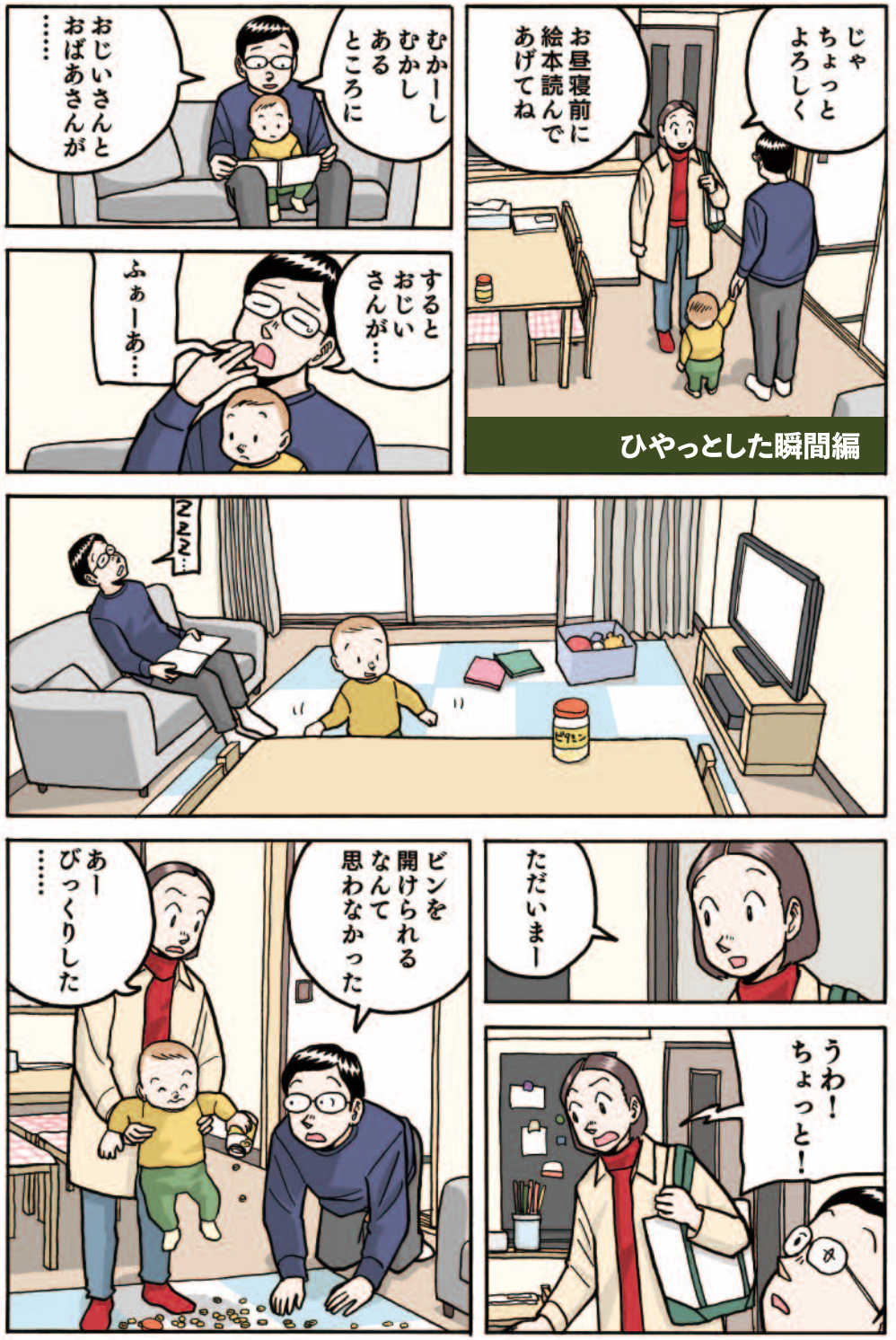


【おすすめHP】
こどもの救急
こどもの事故と対策

パパアンケート「こんなことを大切にしています」

★ 極力テレビや携帯電話の画面を見せないようにしています。
♪ のびのび育ってほしいので危ないこと以外は好きに行動させます。
★ 頭ごなしには怒らず、気持ちを聞いてから注意するようにしています。
♪ 笑わせること。
★ 風呂は必ず自分が入れる。
♪ 沢山遊んで体を動かすこと。
★ こども本人の考えを尊重しています。
♪ 父母ふたり同時に叱らない。
★ 互いを尊重し合う。(夫婦間、親子間)
♪ デリカシーを大切に。
★ 自由に遊ばせる。
♪ 絵本を読み聞かせる。音楽を聞かせる
★ 夫婦ゲンカはこどもの前でしない。
♪ こどもと一緒に過ごす時間を大事にしています。
★ こどもと前向きな言葉で会話する様に心掛けている。
♪ 何事も体験させることを大切にしています。
★ うまくいったときは喜んで褒めます。
♪ 人生は楽しいんだよ、ということを伝える。
★ 朝ごはんは全員で。
♪ 無視はしない。
★ 今を大切にする
♪ 駄目なことは駄目と教えている。
★ 目を見て、話しかける。笑顔で接する。
♪ 挨拶を大切にしている。
★ やりたいことは、まずやらせる。





こどもの育ちを楽しもうじゃないか！

1～2歳ころ

ハイハイから、歩き始める頃になると、赤ちゃん体型から幼児らしい体つきに変わります。怒って泣いたり、おむつ替えを嫌がったり、感情表現も豊かになります。「大きな音が出て、びっくりしたね」など、「状況＋感情」で会話をすると、感情と言葉が少しずつ結びついていきます。行動範囲も広がり、目が放せなくなります。危険なときは本気で叱って止めます。このとき、普段笑顔でいることがポイント。急に怒った表情になることで、本気の「ダメ」が伝わります。なんとなく「ダメ」を繰り返すのではなく、叱る条件を決めておくとよいです。

先輩パパより こどもはママの笑顔が好きだから

ママのケア

こどもはイタズラも覚え、自己主張も強くなるので、ママは自分の思いどおりにいかずイライラ、心配事もいっぱい。パパはこどもといっぱい遊ぼう！こどもは楽しく、ママの時間もできる！



パパがこどもと遊んでいる間に、家事を思いっきりするのが好き。何かを最後までやり遂げることはストレス解消になります！パパありがとう～！

ママは毎日子育てで奮闘した姿をパパに話したくて帰りを待っています。楽しく聞いてくれて、一緒に考えてくれると、「私にはパパという子育て仲間がいる」とほっとします。こどものわがままもパパと一緒なら笑って楽しめるから不思議です。

こどもの成長発見！

こどもと遊ぼう！パパはおだづもっこ！

ふわふわティッシュ

どこの家庭にでもあるティッシュが、遊び道具に大変身！1枚とって上からひらひら♪ゆっくり落ちてくる様子に興味津々。ティッシュを追いかけて大喜び！「みてみて！とれたよ～！」と満面の笑み。パパも仕事で疲れていても、これならソファーに座ったままでもOK！ボールだと取るのも難しいし、何より室内では狭くて危ない。アイディア次第で、遊びはまだまだ広がります。皆さんぜひ、遊んでみてくださいね♪



寝る前に絵本の読み聞かせをしていると、自然と兄弟も寄ってくる。楽しみにしている様子もある。

絵本を読んでもちゃんと聞いているのかな？と思いながら読んでいた。成長して話せるようになったら、字を読めないはずなのに、そのページの内容を覚えて話していた。効果はあると、実感。

先輩パパの 絵本で遊ぼう

こどもと絵本を読むことは、こどもの喜怒哀楽の感情や想像力を育てます。親子のコミュニケーションの時間になるのでこどもたちはそれが楽しいようです。自分のためにお父さんが時間を作ってくれていることを感じるからこそ、安心して、絵本の世界に浸ることができるのでしょう。こどもにどう接したらよいか分からないというパパも、絵本の力を借りると難しくはないと思います。「あ、ダンプカーだ」と絵だけを見て話すこどもに「それはいいから、ちゃんと聞いて」なんて言わずに「続きはどうなるかな？」「〇〇ちゃんも（絵本と）同じことあった？」というように一緒におしゃべりしてもよいと思います。「今日はどの絵本にする？」と自分で選ばせるようにすることも長続きのコツです。



「とことん信じる」を習慣に

家族以外のお友だちと一緒に遊ぶことができるようになり、親が近くにいなくても構わずにどんどん自分の世界を広げていきます。親は、世界を広げるためのお手伝いをすることがとても大切です。それは「失敗もすべて大切な経験」と心に刻み、「命の危険や大けが以外のけがはどんどんさせる」という肝っ玉父ちゃんになってみてください。大切なのは『見守る』事。そして自分で考えて決めることが既にできるこどもを『とことん信じる』事。これって簡単なようですが意外と気合いが必要なので、一日も早く【習慣】にしちゃってください。あとは、時間が許す限り一緒に遊んでください。息子からは「大きくなったら父ちゃんみたいになる」娘からは「お父ちゃんのお嫁さんになる」この言葉を聞けたら「はなまる」ですね～。

（認定NPO 法人こども∞感ぱにー 代表 田中雅子）